

利用状況

令和4年度（R4. 4. 1～R5. 1. 31）

【貸出基準】

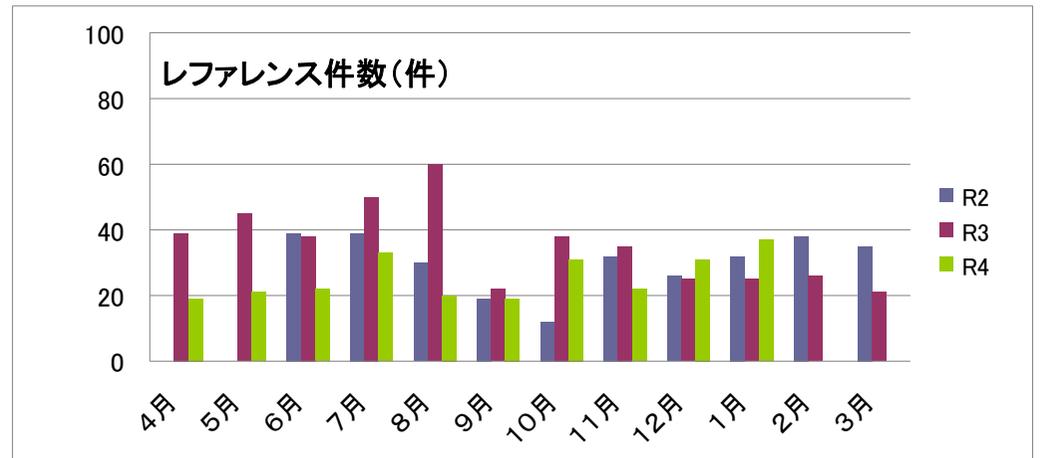
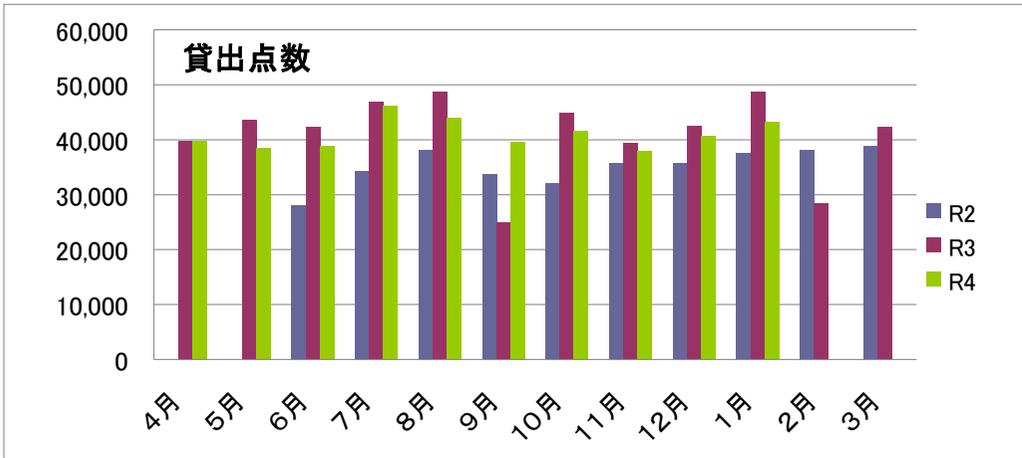
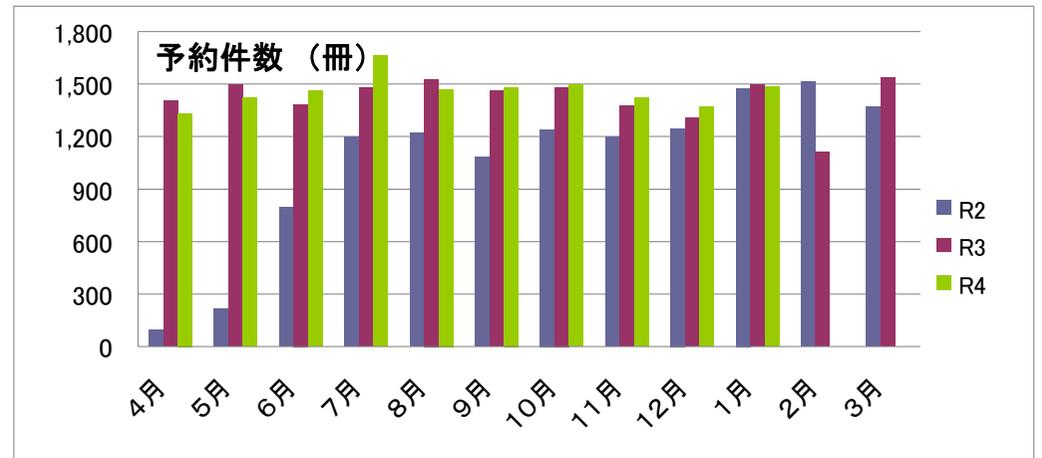
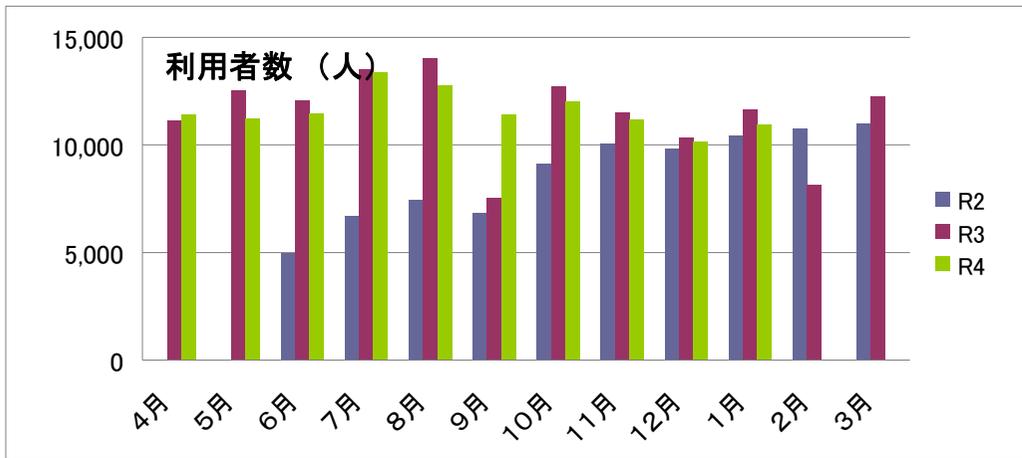
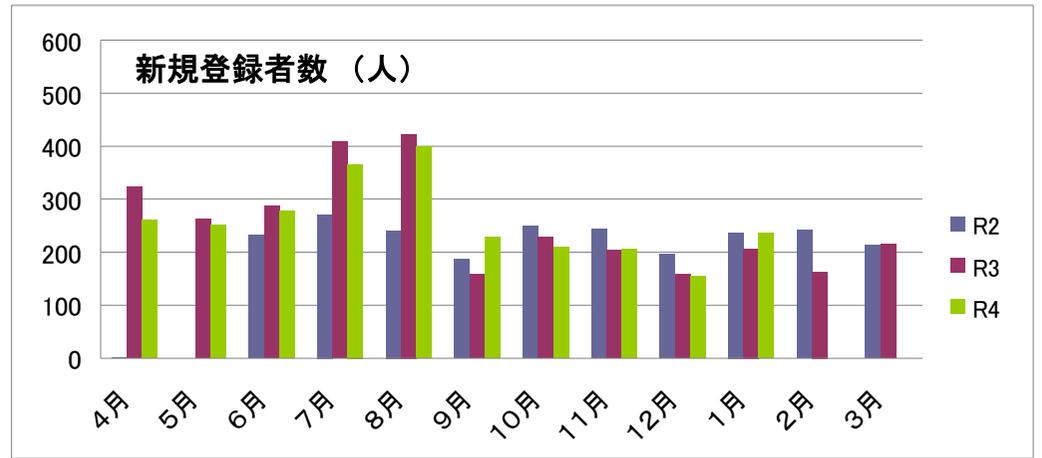
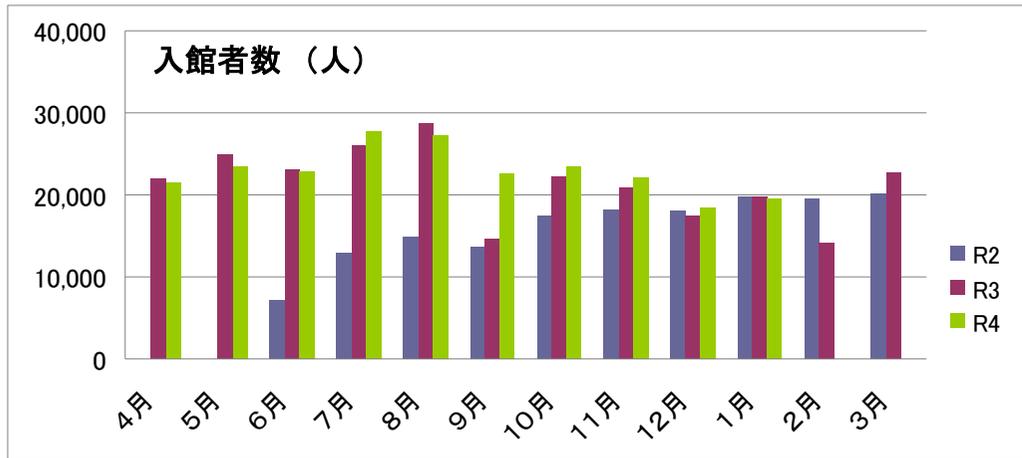
対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて5点まで2週間 視聴覚資料2点まで1週間

【説明】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間AVブースの利用は中止している。
- ・昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月27日から9月15日、まん延防止等重点措置のため2月10日から3月22日まで開館時間を午後5時までの2時間短縮としていたため、今年度の方が5時以降の入館者数が多くなっている。
- ・一日平均を前年度と比較すると入館者数が5%増加している。
- ・貸出数が減少しているのは、感染症対策の一環として、web上からの再貸出の制限を無制限としていたところを再貸出1回までの制限に戻したことが一因と考える。
- ・視聴覚資料が昨年度に比べ7%増加している。これはジブリパークが開園し、ジブリの展示を行っているためジブリ作品の貸出しが増えていると考える。

	R4年度											R3年度		増減率		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	一日平均	1月末合計		一日平均	
開館日数	25	25	25	26	26	25	25	25	23	21	246		247			
蔵書購入冊数	1,064	570	838	604	506	942	668	597	545	671	7,005		7,471			
入館者数	21,436	23,391	22,907	27,771	27,284	22,572	23,391	22,175	18,410	19,567	228,904	930.5	219,612	889.1	5%	
うち5時以降入館者数	1,148	1,076	1,719	1,844	1,971	1,527	1,318	1,155	1,173	959	13,890	56.5	8,944	36.2	56%	
貸出利用者数	11,430	11,207	11,475	13,393	12,766	11,417	12,011	11,168	10,173	10,925	115,965	471.4	117,118	474.2	-1%	
貸出点数	図書資料	37,326	36,281	36,618	43,680	41,563	37,296	39,300	35,852	38,395	40,957	387,268	1,574.3	396,660	1,605.9	-2%
	視聴覚資料	395	380	402	516	543	500	485	489	526	499	4,735	19.2	4,441	18.0	7%
	紙芝居	333	287	372	384	349	346	352	287	246	345	3,301	13.4	3,826	15.5	-13%
	雑誌	1,633	1,517	1,537	1,532	1,431	1,407	1,471	1,373	1,445	1,471	14,817	60.2	16,658	67.4	-11%
	合計	39,687	38,465	38,929	46,112	43,886	39,549	41,608	38,001	40,612	43,272	410,121	1,667.2	421,585	1,706.8	-2%
新規登録者数	260	251	278	366	400	228	210	206	154	236	2,589	10.5	2,662	10.8	-2%	
予約件数(個人)	1,332	1,420	1,459	1,661	1,471	1,482	1,494	1,419	1,370	1,486	14,594	59.3	14,416	58.4	2%	
AVブース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
AVルーム	11	22	19	16	11	13	13	11	16	15	147	0.6	72	0.3		
ギャラリー	0	0	0	8	0	0	0	10	20	16	54	0.2	25	0.1		
レファレンス	19	21	22	33	20	19	31	22	31	37	255	1.0	377	1.5		



令和4年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

事業名	課題	目標	実施項目	総括	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 本の修理	良質な状態の蔵書を長く使用したい	破損した本を年間で600冊修理する。	1.返却時等に本が破損していないか確認する。(毎日) 2.破損本の修理又は買替の選択、図書データの変更をする。(毎日) 3.図書修理ボランティアに本の修理を依頼。(毎日) 4.修理完了した部分を職員が確認。(週1回) 5.本の図書データを元に戻し閲覧室へ配架。(週1回)	【検証】 修理を必要とする本を回収し、図書修理ボランティアが快適にボランティア活動に取り組むことができるようにするため、図書館職員が修理本回収から修理完成までの一連の流れを支援し、ボランティアと職員が協働で事業に取り組む。 【成果】 毎月10人程度のボランティアに定期的に修理を行ってもらい、2月までに2,258冊の修理が完了した。 【今後の課題】 現ボランティアの技術向上のためのフォローアップ講座や、新規ボランティアを増やすための養成講座を今後実施し、活動を活性化させる。	修理冊数 												教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進 より良い職場環境づくり運動の取組項目
					150冊	179冊	315冊	163冊	121冊	345冊	257冊	281冊	115冊	108冊	224冊		
2 本の展示の実施	本の魅力を伝える機会が少ない	テーマ展示本の貸出回転率を1.2とする。(展示冊数の1.2倍)	1.図書館員が自身で企画した展示の実施。 2.閉架の図書も展示図書に組み込む。 3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2か月単位で展示。 4.展示本の位置情報の変更入力処理や、人目を引くディスプレイをし、利用者が手に取りやすくする。	【検証】 館内4か所(出入口やカウンターの近く、児童書コーナーの中心)に展示図書コーナーを設置し、テーマに基づいた本を展示した。 設置期間は2ヶ月程度とし、ロングセラー本も含めてテーマに合った展示に相応しい本を選定した。 【成果】 2月までに21回の展示を実施し、うち目標を達成したのは18回だった。 閉架書庫の本を多く活用し、開架の目立つ場所に展示することで、通常よりも多く貸し出された。今後も続けていく。 【今後の課題】 より利用につながるテーマや展示本を選定するための、選書・情報収集能力、時事など社会的な知識のほか、展示やPR技術の向上。	テーマ展示本の貸出回転率(%) 												教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進
					①289%	①356%	①463%	①368%	①460%	①42%	②323%	②355%	②204%	②433%	②296%	②76%	
3 図書館ホームページの充実化	ホームページがわかりにくい	年間閲覧者数を48万人以上とする。	1.ホームページの更新を年間で36回実施する。 2.新規項目を年間で6回掲載する。	【検証】 ホームページの充実及び利用向上を目指し、ホームページの更新を定期的に行い、新規項目の追加掲載を実施した。 【成果】 2月末までに合計104回(うち新規項目は8回)の更新を行い、年間閲覧者数は約40万人となった。 【今後の課題】 市や他館のホームページを参考に、必要な項目や見やすいページになるように修正を加えていく。今年度は記念事業や第3次子ども読書活動推進計画関連のページの更新が多かったが、利用者のページなど利用者が活用するページの改良を進めたい。	ホームページ更新回数 												教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進
					11回	9回	11回	12回	7回	10回	7回	7回	7回	13回	10回		
4 延滞対策事業	延滞本が多い	・月次集計(30日~3年)時点での延滞冊数を100冊以内とする。	1.延滞者に督促はがきを毎週郵送。 白色はがき:15日以上30日未満 黄色はがき:30日以上100日未満 2.100日以上延滞者へ封書による督促。 3.40日以上延滞者、及び10日以上延滞が10回以上の延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員から厳重注意(マナー説明、イエローカードを渡す、返却日お知らせメール周知)。 4.新規登録者に延滞注意喚起と、再貸出・館外返却ポスト・返却日お知らせメールの周知をする。	【検証】 昨年度の実績から更に延滞者数の減少を目標として、延滞者へ窓口での注意、督促はがきや督促電話を通年で実施した。 【成果】 新型コロナウイルス感染症対策による制限の緩和に伴い、利用者数が回復傾向になり、延滞者数が増加したため、早めの督促電話を強化し減少に努めた結果、30日を超える長期延滞者は目標冊数以下にすることができた。 返却を忘れていた利用者に対する早めの督促や、「返却期限日お知らせメール」送信機能の周知を行い、延滞者の減少につなげた。 延滞を繰り返す利用者に対する啓発のため、40日以上延滞者だけでなく、督促回数の多い利用者への貸出禁止措置を実施した。 【今後の課題】 督促の頻度を多くすれば延滞者は減少するが、相応の業務量は発生するため、より効果的な方策を検討・選択していく。	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)15日以上100日未満 新規登録者に延滞注意喚起、返却日お知らせメールを周知(通年) 集計と検証(毎月)30日以上3年未満の合計 												
					36冊	14冊	30冊	21冊	16冊	27冊	16冊	30冊	15冊	31冊	20冊		

令和4年度 蔵書点検結果

1 期間

令和5年1月31日（火）から2月8日（水）まで
（職員週休日を除いた作業実施日数は7日間）

※IC導入により作業実施日数を3日間減らした。（IC導入前の作業実施日数10日間）

2 作業内容

- (1) 開架・閉架資料すべての書架整理（誤配置本の戻し等）
- (2) 経年等による除籍する資料を閉架から選定し、登録情報の変更入力、2階AVルームにて「除籍」のスタンプ押印
- (3) 点検範囲（開架すべて、閉架の閉架資料の一般書（雑誌含む）の資料を蔵書点検用ペン型スキャナーで1冊ずつ及びIC読取機で約10冊ずつ読み取りし、コンピュータで配架位置、貸出情報等を突合（対象数：開架閉架合計約19万冊）
- (4) コンピュータ突合結果によるエラー資料の検索及びデータ修正
- (5) その他
例年ボランティアの協力を得て実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策(まん延防止等重点措置期間)のため図書修理ボランティアのみの協力で実施

3 点検整理結果

(1) 不明資料

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ア 新規不明冊数 | 63冊（昨年度 119冊） |
| イ 上記の金額換算 | 70,286円（昨年度 164,576円） |
| ウ 新規不明率 | 0.03%（昨年度 0.05%） |

※昨年度の割合は、新型コロナウイルスの影響により開架のみの不明率等となっている。

(2) 除籍

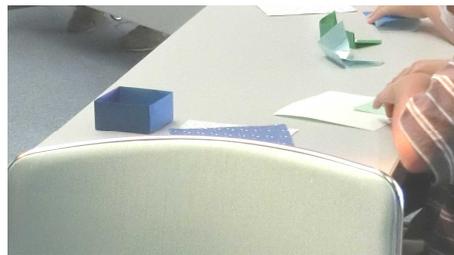
3,691冊（リサイクル図書として無料配布中）

- 1 目的 2022（令和4）年で、長久手市は市制10年、中央図書館は開館30年を迎えたことを記念し、様々なイベントを実施した。
- 2 実施期間 令和4年6月2日（木）から令和5年1月22日（日）まで
- 3 実施内容

- (1) 「記念しおり配布」（令和4年6月2日（木）から）
長久手市中央図書館が開館した6月2日にあわせ、
手作りのしおりを100枚配布した。
(2、3日で配布終了)



- (2) 「おりがみワークショップ」（令和4年8月12日（金）午前午後各1回）
折り鶴が折れる小学生から高校生までの子どもを対象に、司書による「折り紙ワークショップ」を開催した。
折り紙作家 布施知子さんの許可をいただき、『箱のおりがみ』（日本ヴォーグ社）に載っている作品を作った。



- (3) 「紙で遊ぶ ～祝の巻～」（作品募集：令和4年11月1日（火）から11月15日（火））
（展示期間：令和4年11月23日（水・祝）から12月4日（日））
中央図書館で所蔵する本を参考にした折り紙作品を利用者から募集し、司書の作品と共に展示した。



- (4) 「図書館のあゆみ展」（令和4年12月9日（金）から令和5年1月22日（日））
中央図書館や長久手市の主なできごとをまとめた手作りの歴史年表のほか、生涯学習課が所有している写真・パネル等を借用し、中央図書館や長久手市の歴史に関する郷土資料等と併せて展示した。



長久手高校と中央図書館との連携事業

高校生に人気のある本とPOP展

- 1 目的 第2次長久手市子ども読書活動推進計画に基づき、中高生世代の読書環境づくりにより、読書活動の推進を図る。(計画書：基本目標2－重点施策1－取組2)
- 2 展示期間 令和4年7月27日(水)から令和4年9月25日(日)まで
(休館日を除く)
- 3 展示場所 長久手市中央図書館 1階 棚27番展示棚
- 4 内容 中央図書館と長久手高校との連携事業として、同校の図書委員による手作りの本のPOP展示と本、長久手高校でのランキング本や同シリーズ本を中央図書館で展示・貸出した。(展示本51冊)



第2次長久手市子ども読書活動推進計画 令和4年度進捗状況・当初目標値一覧

資料6

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和4年度 目標値	実績(R5.1月末)	達成率 (R5.1月末現在)	当初目標値
1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進	家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1 乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートパック配付人数(年間)	350人	213人	61%	500人
		2 家庭読書の支援	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	年齢別ブックリスト作成	幼児向け作成(5歳、6歳)	作成中	95%	5種作成
		3 地域の読書活動の支援		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	ボランティア団体への団体貸出(年間)	520冊	532冊	102%	520冊
	中央図書館(家庭・地域)における子どもの読書活動の推進	1 良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	140,000冊	119,215冊	85%	150,000冊
		2 声かけレファレンス	○	本をさがしている子ども(保護者含む)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービスを強化します。	学校連携司書が中央図書館で実施するレファレンス件数(年間)	45件	0件	0%	380件
		3 中央図書館がより身近な存在となる事業の企画		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	テーマ展示回数(年間)	16回	18回	113%	18回
		4 図書ボランティアとの協働		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。	ボランティア登録者数(年間)	92人	104人	104%	100人
		5 児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施		おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	イベント等の実施回数(年間)	43回	64回	149%	83回
	児童館(地域)などにおける子どもの読書活動の推進	1 中央図書館からの図書貸出		中央図書館から児童館に団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	児童館への団体貸出(児童館)(全6館)	全6館の継続	実施済	100%	全6館の継続
		2 ボランティアによる読み聞かせ	○	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。	児童館での読み聞かせをした館(全6館)	コロナ対策をふまえたボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。	協議実施	100%	6館
	保育園・幼稚園(地域)における子どもの読書活動の推進	1 保護者などに読書活動の大切さを周知	○	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	園児対象のブックリスト配置(全19園)	1園で各1冊 幼児向け(5歳、6歳)リストを配布	作成中	95%	19園
		2 読書と遊びを結びつけた取組	○	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取り組みを充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	園職員へ選書のためのレファレンス実施(全19園)	3園	3園	100%	7園
	学校における子どもの読書活動の推進	1 学校連携司書の派遣		中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	学校連携司書の配置人数	1人増員の予算要求事務	R4年度予算要求済	100%	9人
		2 学校連携司書による調べ学習の補助		学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。	年間の調べ学習用等の貸出冊数(小学校)	450冊	734冊	163%	3,000冊
			年間の調べ学習用等の貸出冊数(中学校)		40冊	20冊	50%	200冊	
		3 学校連携司書による読書案内		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	130,000冊	109,197冊	84%	160,000冊
			年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)		9,300冊	7,950冊	85%	9,300冊	
	4 学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	1校あたりの年間のテーマ展示回数(小学校)	小学校6回	71回	1183%	小学校6回	
		1校あたりの年間のテーマ展示回数(中学校)		中学校3回	10回	333%	中学校3回		

基本目標1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進の達成割合 R5.1月末現在 目標達成・・・ 87%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和4年度 目標値	実績(R5.1月末)	達成率 (R5.1月末現在)	当初目標値
2 子どもの読書環境の整備・充実 (本の見やすさ、対象別に強化)	1 中央図書館のサービスの充実	1 子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気的空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。	中央図書館の児童書コーナーの点検・調整(年間)	6回	9回	150%	半年に1回
		2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚をつくります。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	6,300冊	5,615冊	89%	7,000冊
		3 ホームページを通じた情報発信	○	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	年齢別の推薦本紹介ページの開設	幼児向け作成(5歳、6歳)	作成中	95%	5種作成
		4 障がいのある子どもへのサービス	○	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。	障がい児向け図書の提供	145冊	163冊	112%	50冊
		5 中央図書館からやや離れた地区に住む子どもたちへの読書環境づくり		中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。	中央図書館から団体貸出する拠点の数	13か所	16か所	123%	20か所
	2 児童館の読書環境の整備・充実	1 児童館利用者への本の紹介	○	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	年齢別ブックリストの配置	幼児向け作成(5歳、6歳)	作成中	95%	5種作成
		2 児童館図書室の環境整備		児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力をします。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。	本の配置などの点検・調整(年間)	全6館年1回の継続	実施済	100%	全6館年1回の継続
	3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実	1 園内の図書コーナーの整備	○	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	選書の意見交換と支援の年間実施園数(全7園)	3園	3園	100%	7園
		2 団体貸出登録		中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するように周知し団体貸出を促します。	市内全ての園の団体登録数(全19園)	12園	12園	100%	19園
	4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実	1 学校図書館の環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	学校図書館へ週4回訪問する学校数(小学校6校) 学校図書館へ週4回訪問する学校数(中学校3校)	1人増員の予算要求事務	R4年度予算要求済	100%	小学校6校週4回、中学校3校週4回訪問
		2 中央図書館資料の学校への提供		中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。	団体貸出(学校)の冊数(年間)	7,500冊	8,325冊	111%	7,500冊
		3 学校連携司書による中央図書館の行事企画		学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	中央図書館でのイベント参加者数(年間)	80人	44人	55%	160人
		4 学校図書館と中央図書館の情報共有	○	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けにおすすめの本をホームページで紹介し、学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。	学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数(年間)	20冊	16冊	80%	20冊

基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)の達成割合 R5.1月末現在 目標達成・・・ 93%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和4年度 目標値	実績(R5.1月末)	達成率 (R5.1月末現在)	当初目標値	
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及 (広く周知し、興味を集める)	1 普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	300枚	550枚	183%	300枚	
					読書手帳の完了スタンプ数(年間)	110個	121個	110%	70個	
		2 「子ども読書の日」などの普及		「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。	「子ども読書の日」いちにちおはなし会参加者数(年間)	50人	71人	142%	200人	
					3 保護者への周知	○	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	中央図書館のホームページで各施設で行われている読書活動を紹介	6件	6件
	4 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	430人	1,232人	287%	4,400人		
				2 各種情報の収集・提供	1 図書情報などの収集・提供	○	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	閲覧室等へ随時、子ども読書に関わる情報を掲示する件数(年間)	6件	6件
	3 優れた取組の紹介	1 図書ボランティアなどの活動を紹介	○	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティアの活動状況を掲載	4種の掲載を継続	実施済	100%	4種の掲載を継続	
	基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める。)の達成割合 R5.1月末現在 目標達成・・・ 100%									
	令和4年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 目標達成・・・ 91%									

「第3次長久手市子ども読書活動推進計画」概要版

－本に親しみ、本を楽しみ、読みつなぐ－

1 計画策定の背景

国は、子どもの読書活動に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、読書を通じて子どもの健やかな成長に資することを目的に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を平成13年に制定しました。そして、同法の第9条第2項で、市町村は、子ども読書活動推進計画を策定するよう努めなければならないと規定しました。これに基づき、国及び愛知県の計画に沿って、本市では「第1次長久手市子ども読書活動推進計画」を平成24年度に策定、第2次計画を平成29年度に策定し、それぞれ5年間の期間で事業を展開してきました。

第2次計画を継承しつつ、より一層、子どもの読書活動を推進するために、「第3次長久手市子ども読書活動推進計画」を策定します。

2 計画の期間

令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までにおおむね5年間とします。

3 施策体系

目的

家族で読書を楽しむ子どもが増える



基本目標

I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

- 1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進
- 2 中央図書館における子どもの読書活動の推進
- 3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備
- 4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備
- 5 学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実

II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

- 1 中央図書館のサービスの充実
- 2 普及活動の充実
- 3 各種情報の収集・提供

I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

子どもの読書習慣は、家庭生活や学校生活、地域社会などとの日常的な関わりを通して育まれます。そのため、子どもの身近にいる大人が役割を認識し、子どもの読書の機会の充実を図ることが大切です。関係者がそれぞれの立場から子どもの発達段階に応じて、子どもが自主的に本に親しむことができるように、様々な取組を推進します。

II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

子どもが読書の楽しさや喜びを知るためには、発達段階に応じた読書環境が整っていることが重要です。子どもが本を手に取りやすく、いつも身近に本がある読書環境の整備・充実に努めます。また、子どもの読書活動の意義や重要性について、子どもに関わるすべての人々が理解と関心を持つため、中央図書館が主体となり取組みを積極的に進め、子どもの読書活動を広めていきます。

I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進

- (1) ブックスタート事業の推進
- (2) 家庭読書の支援、家読事業の啓発
- (3) 地域のボランティア団体への貸出



2 中央図書館における子どもの読書活動の推進

- (1) 良質な図書の収集
- (2) レファレンスサービスの継続
- (3) テーマ展示等の事業の企画
- (4) 図書ボランティアの募集・育成
- (5) おはなし会等のイベントの企画

3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備

- (1) 児童館への図書貸出
- (2) ブックリストの作成・配布

4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備

- (1) 保育園・幼稚園への図書貸出
- (2) ブックリストの作成・配布

5 学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実

- (1) 学校連携司書による読み聞かせやブックトークの実施
- (2) 学校連携司書による調べ学習や探求学習での学校図書館の利用促進
- (3) 学校連携司書による企画展示
- (4) 学校連携司書による学校図書館のレイアウト調整、本の選定

II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

1 中央図書館のサービスの充実

- (1) 児童書コーナーの点検・調整
- (2) 中高生向けの本の収集
- (3) 点字絵本やさわる絵本等の収集

2 普及活動の充実

- (1) 読書手帳の普及
- (2) 読書に関するイベントや展示の企画
- (3) 読書活動に関する取組事例の周知

3 各種情報の収集・提供

- (1) 子どもの読書活動に関するニュースの提供
- (2) おすすめ本紹介文（POP）掲示
- (3) 図書ボランティア等の活動紹介
- (4) ホームページを通じた情報発信



令和 5 年度事業概要

1 事業実施のための計画の位置づけ

(1) 第 6 次総合計画

基本目標 2 子どもが元気に育つまち

政策 3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

・子ども読書活動推進事業

基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

政策 1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

・地域資料収集事業

(2) 教育振興基本計画

基本目標 V 生涯を通じた学びの機会提供と支援の充実

基本施策(8) 子どもの読書活動の推進

基本施策(9) 魅力ある図書館づくり

(3) 子ども読書活動推進計画（第 3 次）

基本目標 I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

基本目標 II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

2 事業概要

(1) 会議

ア 図書館運営協議会 年 2 回（5 月、2 月予定）

イ 学校司書職員連携会議 年 1 回（7 月）

ウ めりーらいん会議（図書館連携による健康支援事業）年 1 回予定
連携館：愛知医科大学医学情報センター（主催）、瀬戸市立図書館、
尾張旭市立図書館、日進市立図書館、長久手市中央図書館

(2) 図書業務

ア 図書資料、地域資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の収集、整理、保存、貸出

イ 蔵書管理

図書の選書、発注、受入、蔵書データの整備など

ウ 利用者サービス

児童・中高生・障がい者向けサービス、レファレンス（資料照会応談）、本の予約・リクエストなど

エ 団体貸出

放課後子ども教室、児童クラブ、Nーハウス、地域共生ステーション（市が洞）、保育園、幼稚園などへの貸出

オ 館内企画展示

自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー

(3) 資料収集計画

ア 図 書 約 7,200 冊を収集予定

参考：令和 4 年度図書購入予算 1,700 万円（視聴覚資料費を含む）

(ア) 中央図書館蔵書用

一般書	4,500 冊
児童書	2,150 冊
参考図書	80 冊
郷土資料	40 冊
紙芝居	30 組
中高生向図書	100 冊
計	6,900 冊

(イ) 学校連携及び児童館連携用

団体連携本（主に児童書） 300 冊

イ 視聴覚資料

D V D	10 点
C D	10 点
計	20 点

ウ 雑 誌 107 誌

※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入

令和 5 年 2 月現在 11 事業者、19 誌

エ 新 聞 12 紙

(4) 子ども読書活動推進計画

第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画

（対象年度：令和 5 年度から令和 9 年度まで）

【主要な取組】

- ア ブックスタート事業
- イ 中央図書館の読書環境づくり
- ウ 児童館連携事業
- エ 学校連携事業
- オ 保育園・幼稚園の読書環境づくり

(5) 行事

ア おはなし会（図書ボランティア等による） 年 100 回程度

- イ 児童書企画イベント 年1回
- ウ 講座 年1回

(6) 図書ボランティアとの連携

- ア 絵本などの読み聞かせ
- イ 図書資料の修理
- ウ 図書資料の返本、書架整理

(7) 見学・職場体験・実習生

※相手方との調整の上、実施または延期・中止

- ア 小学校図書館見学 各校年1回（3年生）
- イ 中学生の職場体験 各校年1回（2年生）
- ウ 大学生司書課程図書館実習 年1回
- エ 教職員研修 不定期

(8) 広報

- ア 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- イ 新刊リストの発行、ホームページへの掲載
- ウ 小学生向け（学年別）・幼児向け推薦書リストの更新
- エ 市及び図書館ホームページへの掲載
- オ 市広報紙への掲載

(9) 一部業務委託導入事務

- ア 契約事務
- イ 事業引継

(10) 感染症対策事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を随時実施

(11) その他

- ア 学級文庫入替（学校連携事業） 3月
- イ 蔵書点検 2月

第3次長久手市子ども読書活動推進計画 令和5年度目標値一覧

資料9

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	現状値(令和3年度)	令和5年度 目標値
1 家庭・地域・学校などにおける取組の充実	家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートバック配付人数(年間)	301人	305人
		2	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	—	—	—
		3		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	—	—	—
	中央図書館における子どもの読書活動の推進	1		専門的視点で司書が選定する良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	142,848冊	144,300冊
		2		本をさがしている子ども(保護者含む)へのレファレンスサービスを継続します。	—	—	—
		3		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	—	—	—
		4		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、中央図書館と連携します。	—	—	—
		5		定期的におはなし会を開催し、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	—	—	—
	3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備	1		中央図書館と児童館などが協働して団体貸出をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。また、本の選定に中央図書館の司書が協力します。	団体貸出(児童館など)	14か所	14か所継続
		2		児童館などに来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	—	—	—
	4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備	1		中央図書館からの団体貸出によって園での読みかせに適した絵本を増やします。	団体貸出(保育園・幼稚園)	3園	4園
		2		家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	—	—	—
	5 学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実	1		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。	—	—	—
		2		学校連携司書と教職員が連携し、総合的な学習の時間や調べ学習、探求学習など、子どもの自主的、自発的な学習を推進し、学校図書館の利用を促進します。	—	—	—
		3		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	128,497冊	129,800冊
					年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	9,377冊	9,500冊

		4	学校図書館の読書をする環境整備	学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定を学校連携司書と司書教諭が協働で取り組み、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりをします。	—	—	—
--	--	---	-----------------	--	---	---	---